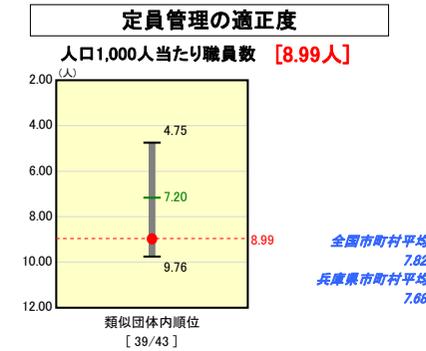
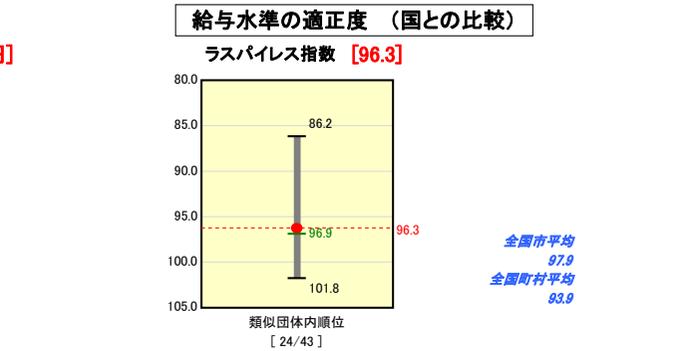
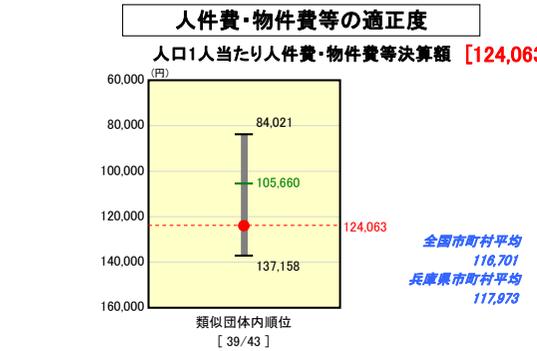
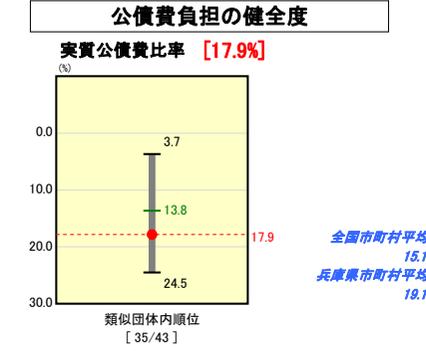
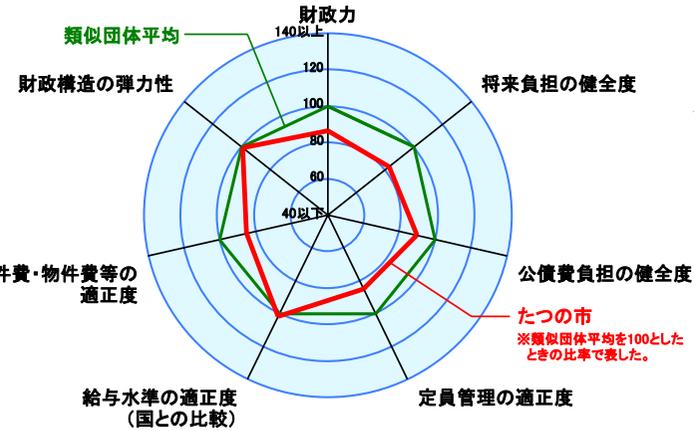
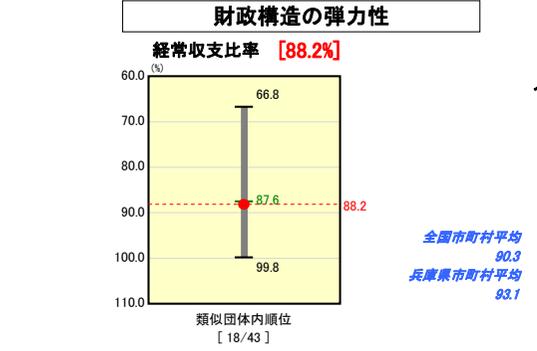
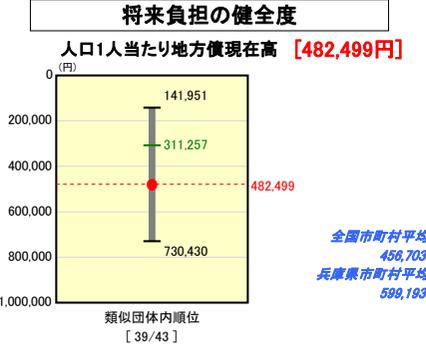
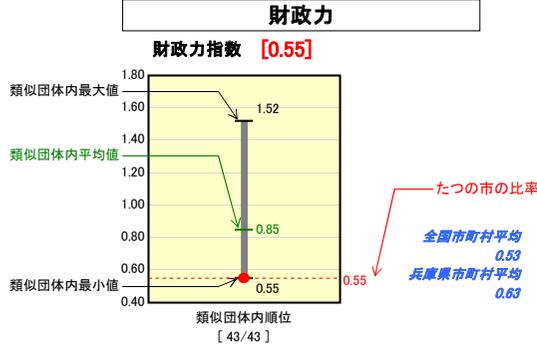


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 兵庫県 たつの市

人口	82,336	人(H19.3.31現在)
面積	210.93	km <sup>2</sup>
歳入総額	32,010,747	千円
歳出総額	31,664,930	千円
実質収支	279,426	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

- 財政力指数**  
景気回復に伴う増収もあり、昨年度より0.03ポイント改善した。引き続き財政改革による歳出削減や自主財源確保等に取組んでいく。
- 経常収支比率**  
下水道事業等への繰入金や扶助費が増加傾向にあり財政の硬直化が進んでいる。経常収支比率を90%以下に抑制するため、下水道使用料等の見直しや物件費の毎年5%削減、補助金の統廃合、人件費の削減に取り組むとともに、税の徴収率向上や各種使用料見直しといった歳入確保に努めていく。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
合併準備経費による物件費の増加要素がなくなり、昨年度より改善しているものの、合併により類似団体よりも職員数が多いため、全国平均よりも高い決算額となっている。現在取り組んでいる職員定員適正化計画を着実に実行し総人件費の削減に努めていく。
- 人口1人当たり地方債現在高**  
新市建設計画に基づく事業の本格化を迎え、合併特例債発行額が高水準で推移する見込である。今後年次計画見直しや事業精査により発行額の抑制と平準化に努めていく。
- 実質公債費比率**  
16年度に減税補てん債を一括償還(6億7千万円)したことにより、単年度の数値が20.8%、3か年平均で17.9%と高くなっている。19年度決算ではこの16年度が算定対象年度から外れるため、3か年平均で16%台に低下する見込みである。今後、新市建設計画に基づく投資的事業の本格化と公営企業、特に下水道に対する資本費繰出の増加により上昇が見込まれるが、3か年平均で18%を超えないよう起債発行額の抑制に努めていく。
- 人口1,000人当たり職員数**  
昨年より、1人改善したものの依然類似団体よりも多く、引き続き職員定員適正化計画に基づき定数削減(10年間で18%の削減)に取り組む、併せて行政組織の見直し、民間活力活用等を図っていく。
- ラスパイレス指数**  
18年度に地域手当の5%から3%への見直しを行った。19年度は若手職員を除く職員の昇給停止を行い総人件費の抑制を図っており、今後地域手当等の更なる見直しを進めていく。